

今年も富士山清掃に参加しました。



御殿場から山梨県南巨摩郡南部町に至る国道 469 号線沿いは、途中に富士サファリパークと富士山こどもの国がありますが、この一帯は有名なスキの群生地です。ここから見える秋の富士山はまさに絶景です。

10 月 22 日(木)、ほぼ晴天の富士山麓。日本リユース業協会は今年も富士山の清掃活動に行ってきました。大型バス 3 台と現地集合グループを含めた 188 名の大所帯です。4 地点に分かれ、主として道路沿いのゴミを回収しました。

今年で 7 回目のプロジェクトになりますが、毎回強く感じるのはゴミの多さです。拾っているときはゴミが分散しているので、「そんなにないのかな」と思いながら歩き回りますが、ゴミの集中ポイントがあるようで、写真でもお分かりのように、テレビ等家電ゴミが一か所にごっそりあります。捨てやすい場所があるのでしょうか。そして、「塵も積もれば山となる」の比喩の通り、最終的には 500kg ものゴミを収集、計 6 回の活動で 4.2 トンの成果です。

比較的マナーがよく、きれい好きな国民性の国の住民の一人としては、道路沿いをずっとゴミ探しに歩いていきたい衝動にかられましたが、残念ながら駐車場に戻る時間になり、後ろ髪を引かれる思いでバスに乗りこみました。ところが、集合場所の富士山こどもの国に近づき、ふと窓の外を見ると、目視だけでも相当多くのペットボトルやカン類のゴミがあります。「この一帯はいつ掃除するのか。できれば帰り際に」と脳裏をよぎります。こんな目立つ場所でもゴミを捨てる人がいるのですから、ややもするとゴミの総量は減ってないのかもしれない。リユース(再使用)はリデュース(ゴミを減らす)活動とともにインセンティブを持つことで、はじめて環境保全効果があります。一人でも多くの方がこうした環境浄化活動を経験し、エコロジー(自然保護運動)意識を高めていきたいものです。

末筆になりますが、コーディネートして下さった、認定特定非営利活動(認定 NPO)法人富士山クラブの皆さまにはたいへんお世話になりました。衷心より感謝申し上げます。



前日のセミナーに続き大活躍の石原会長。計 6 度  
め？のマイク。



道路のポイントごとに分別ゴミを置き、富士山クラ  
ブの担当の方が回収していきます。



この場所には CRT テレビ 2 台とデッキ、チューナ  
ー他。不法投棄です。不心得者のコストは誰かが負  
担しなければなりません。



全箇所のゴミを集め、会長とともに写真です。今回  
は、大物ゴミは少なかったようですが、少なくとも  
ゴミ収集活動沿いは相当きれいになりました。

#### 当協会の富士山清掃活動

	日時	参加者数	ゴミ重量	活動エリア
第 1 回	2009 年 10 月 22 日	133 人	1,030kg	山梨県南都留郡富士河口湖町本栖 (1) 国道 300 号線パノラマ台登山道入口 (2) 国道 139 号線本栖交差点付近
第 2 回	2010 年 10 月 21 日	116 人	530kg	
第 3 回	2011 年 10 月 26 日	126 人	360kg	
第 4 回	2012 年 10 月 25 日	108 人	700kg	
第 5 回	2013 年 10 月 24 日	荒天のため中止		
第 6 回	2014 年 10 月 16 日	188 人	1,080kg	静岡県富士市五貫島地区 富士川緑地
第 7 回	2015 年 10 月 22 日	188 人	500kg	静岡県富士市桑崎・大淵地区
総 計		859 名	4,200kg	